

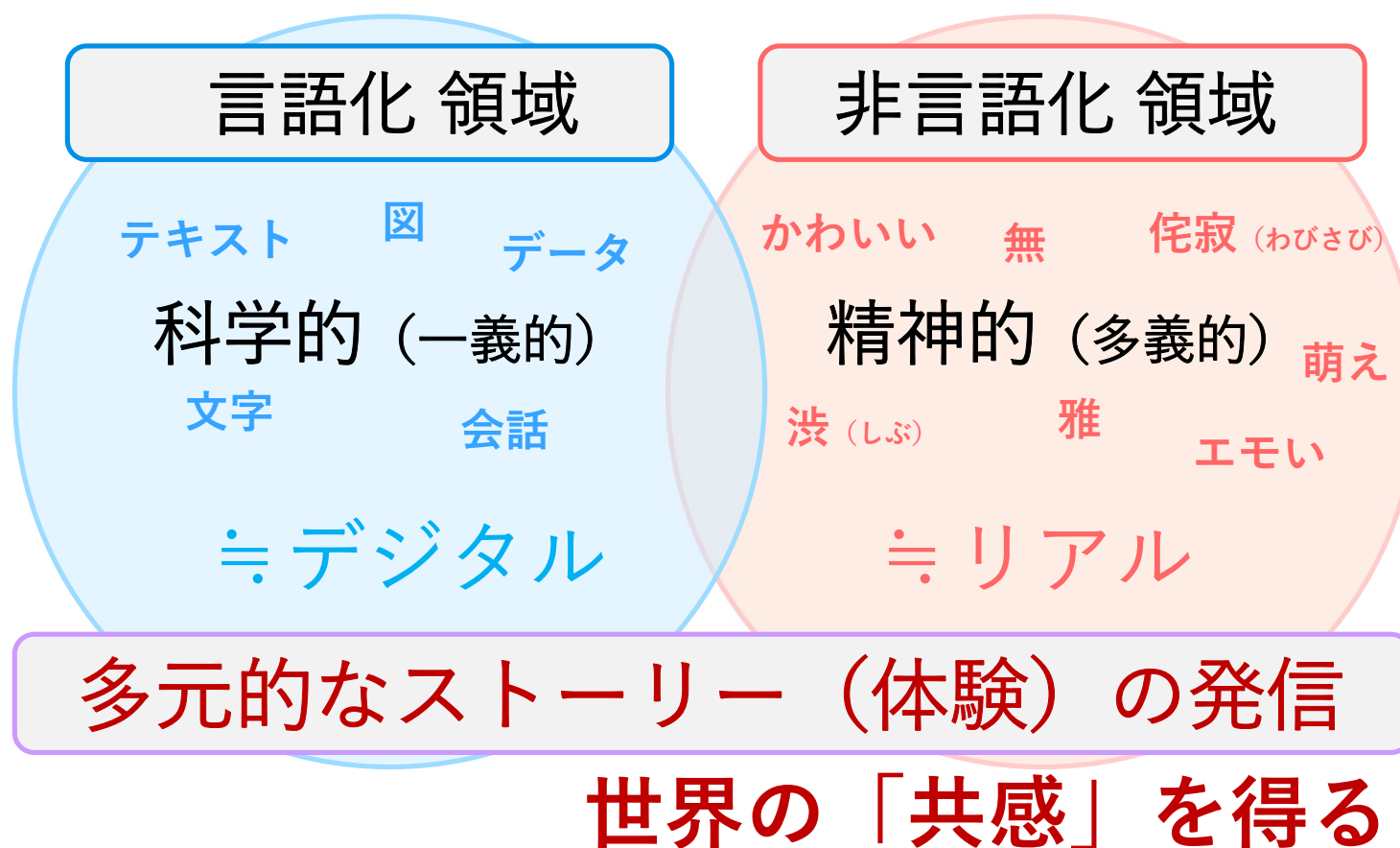
TOPPANが考えるクールジャパン

2024年 3月 1日

TOPPANホールディングス株式会社

TOPPANが考える 日本の「魅力」を発信することとは

日本の「魅力」は非言語的な領域を包括して伝えることにあり、従来のWebメディア、SNSのみで海外発信することにも限界が来ていると考えます。



文化資産視点で考えるクールジャパン

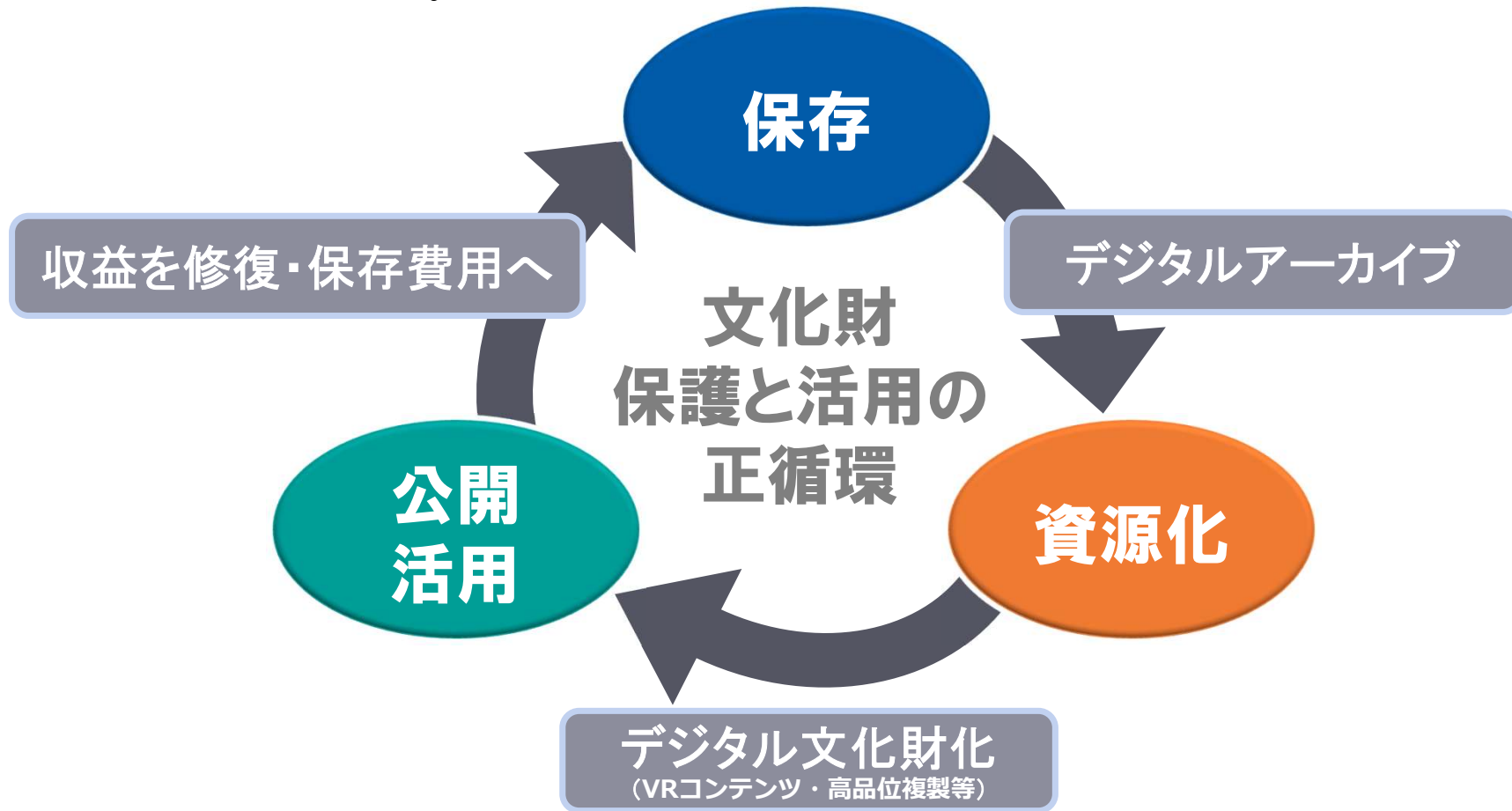
日本の魅力である非言語化領域（厳か・侘び・さびなど）のストーリーは多くは文化資産が兼ね備えています。その文化資産を歴史的背景とともにしっかり伝えることができれば、深い感動とともに日本のファンになってもらえると考えます。

しかし、その魅力的なはずの文化資産などは海外に発信できているかと言えば十分ではなく、「アクセスが難しい場所」や「普段公開していない」などの理由で静かに埋もれてしまっているものも多くあります。また現存しない文化財なども日本の魅力をストーリーで理解してもらうためには重要です。

デジタル技術で普段見ることのできないものを高品質に再現し広く海外に発信していくことは、クールジャパン戦略として価値ある重要なことのひとつと考えます。

文化財の保存、資源化、活用の循環モデルづくり

TOPPANはデジタル技術による文化財の資源化と公開活用で、保存・修復を社会全体で支える事を目指しています。

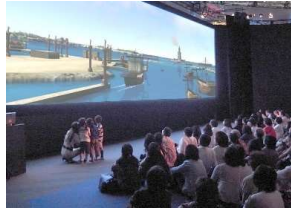


TOPPAN文化財VRの活用

VRデジタル文化財は様々な用途に活用でき、特に文化観光にとっては重要なコンテンツです。

展覧会でのコンテンツ上演で 展示品の情報を補完

VR作品『海のエジプト 海底からよみがえる古代都市アレクサンドリア』
制作・著作：朝日新聞社/凸版印刷株式会社
監修：近藤二郎、長谷川襄、西本真一、フランク・ゴディエ



博物館内の常設シアターで 収蔵品の魅力を訴求

TNM & TOPPANミュージアムシアター
作品『洛中洛外図屏風 舟木本』
監修：東京国立博物館
制作：凸版印刷株式会社



アーカイブデータを 復興支援にも活用

VR作品『熊本城』
製作：熊本城観光交流サービス株式会社
制作・著作：凸版印刷株式会社

蜀飾北斎『須佐之男命厄神退治之図』推定復元(すみだ北斎美術館)

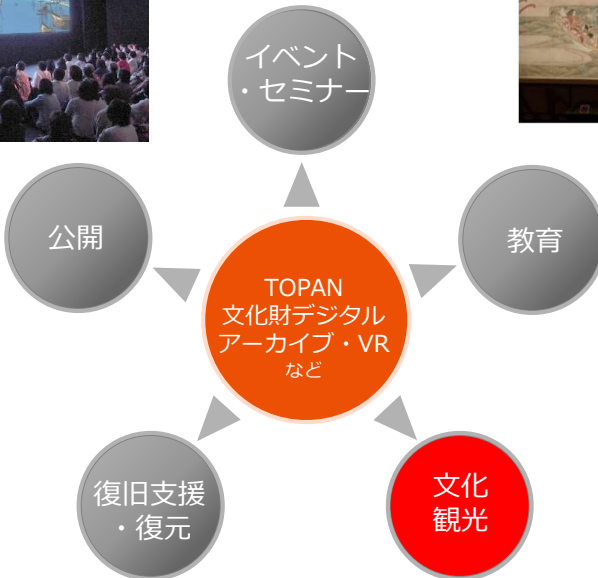


焼失した絵画の色彩復元

想定色平成再生版『金剛界曼荼羅図』 想定色平成再生版『胎藏部曼荼羅図』

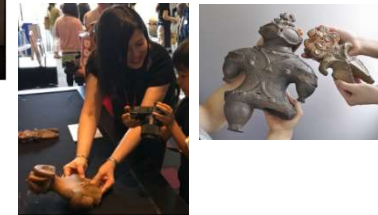


劣化の激しい 文化財の復元・再生



VRコンテンツを利用したトークイベント

『東征伝絵巻』VRコンテンツを用いた「鑑賞上の興国への挑戦」セミナー



文化財の実寸大レプリカによる 触れる体験学習

『東征伝絵巻』のアーカイブデータをもとに制作した複製巻物を使用した研修プログラム



現地とコンテンツを組み合わせた文化体験

TOPPAN文化財VRを活用した文化施設開発

◆高野山デジタルミュージアム

「観光遺産産業化ファンド」を活用

REVIC(地域経済活性化支援機構)が設立した、自然遺産の「観光遺産」化による観光事業を「官民」で推進するファンドの枠組みを活用。

VRシアター：没入感・臨場感のある文化体験



事業主体：DMC高野山
開園：2021年11月2日



◆熊本城ミュージアム

市の観光予算を活用

築城400年を記念し、熊本城近くに複合観光施設「桜の馬場 城彩苑」がオープン。飲食・物販店舗と共に「熊本城ミュージアム わくわく座」が開館。

舞台型VRシアター：熊本城の魅力を楽しく紹介



事業主体：熊本市
管理運営：九州綜合サービス株式会社
開園：2011年3月5日

VR作品「高野山 壇上伽藍－地上の曼荼羅－」

VR作品『高野山 壇上伽藍－地上の曼荼羅－』
製作協力：高野山真言宗 総本山金剛峯寺
製作著作：TOPPAN株式会社

高野山二大聖地のひとつ「壇上伽藍」。弘法大師空海はこの地に、自らが唐からもたらした「曼荼羅」をどのように立体的に表現しようとしたのか。伽藍に配置した根本大塔と西塔に秘められた想いととは…



壇上伽藍の入口「中門」、中央には「金堂」、右奥には「根本大塔」



曼荼羅とは、密教の根本となるおしえを絵で表したもの



根本大塔の外観。高さはおよそ48メートル



根本大塔の内部。曼荼羅をもとに配置された仏像

TOPPAN文化財VR 上演拠点

20拠点超：VRシアター導入数／施設運営数

- ・自治体観光施設：熊本市「熊本城わくわく座」、近江八幡市「安土城天守・信長の館」など
- ・文化施設：東京国立博物館「TNM & TOPPANミュージアムシアター」、「東大寺総合文化センター」など

● 堺市「百舌古墳群シアター」
VR作品『百舌古墳群 時を超えて』
監修：白石太一郎 企画・製作：堺市
制作：株式会社トーエムメディア開発研究所、凸版印刷株式会社

● 熊本城 桜の馬場・城彩苑 わくわく座
VR作品『熊本城』
制作：熊本城観光交遊サービス株式会社
制作・著作：凸版印刷株式会社

● 近江八幡市「安土城天主・信長の館」
VR作品『時間 安土城』
制作・監修：近江八幡市
天主復興委：内藤昌
制作：凸版印刷株式会社

● 京都国立博物館
VR作品『京都府立総合文化センター』
制作・著作：凸版印刷株式会社

● 日光東照宮 宝物館シアター
VR作品『日光東照宮 建築 陽明門』
制作・著作：日光東照宮/凸版印刷株式会社

● 東京国立博物館 ミュージアムシアター
VR作品『東山御所 徳川幕府 御所』
監修：東京国立博物館
制作：凸版印刷株式会社

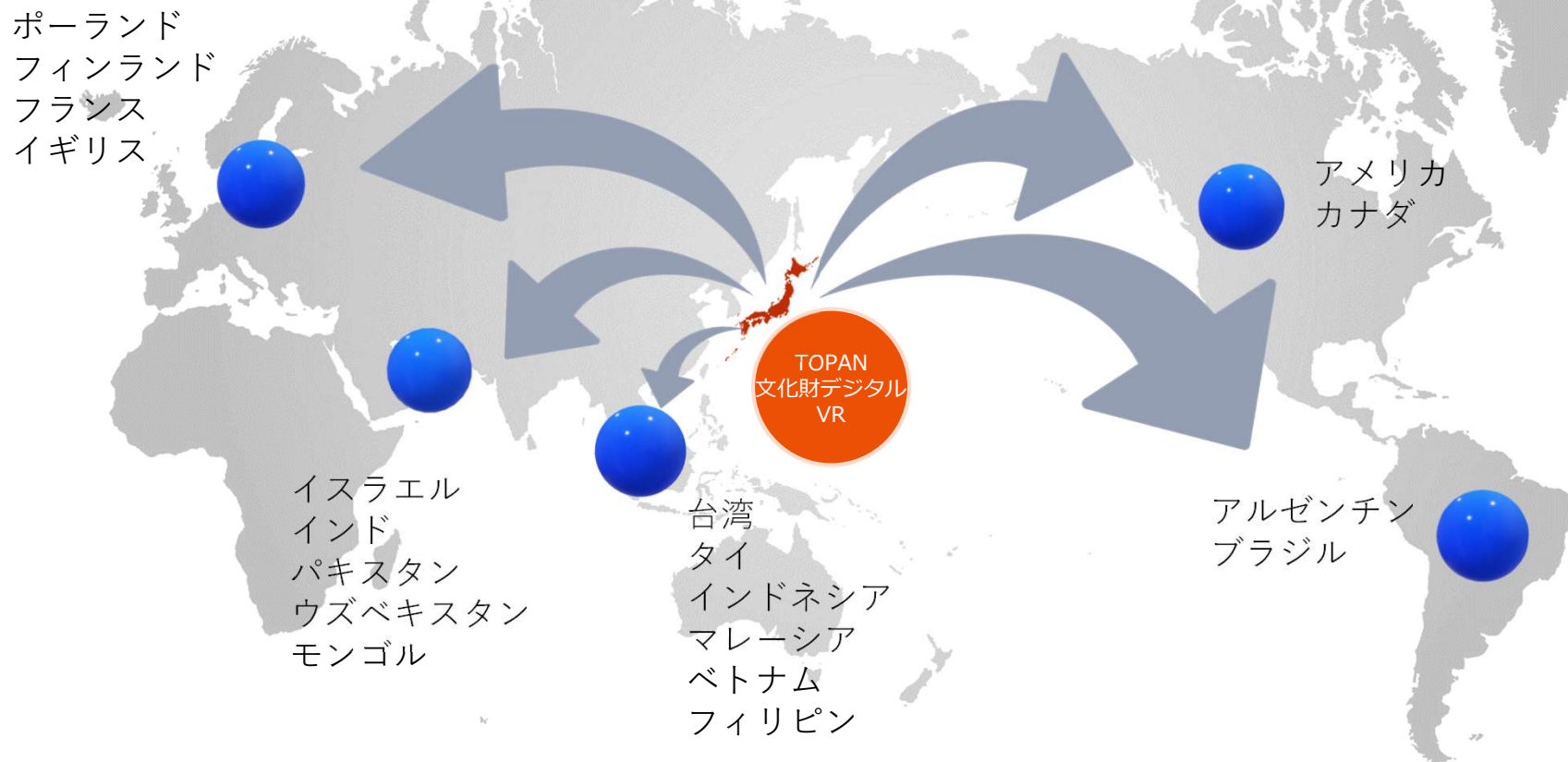
● ニッポンギャラリー 丸の内 VRシアター
VR作品『江戸城の天守』
制作・著作：凸版印刷株式会社

● 印刷博物館 VRシアター
VR作品『故宮博物院 乾隆皇帝の御製』
制作・著作：故宫博物院/凸版印刷株式会社

● 東大寺総合文化センター
VR作品『東大寺 聖徳太子の御製』
監修：東大寺境内整備計画委員会 委員長
制作・著作：凸版印刷株式会社/読売新聞社

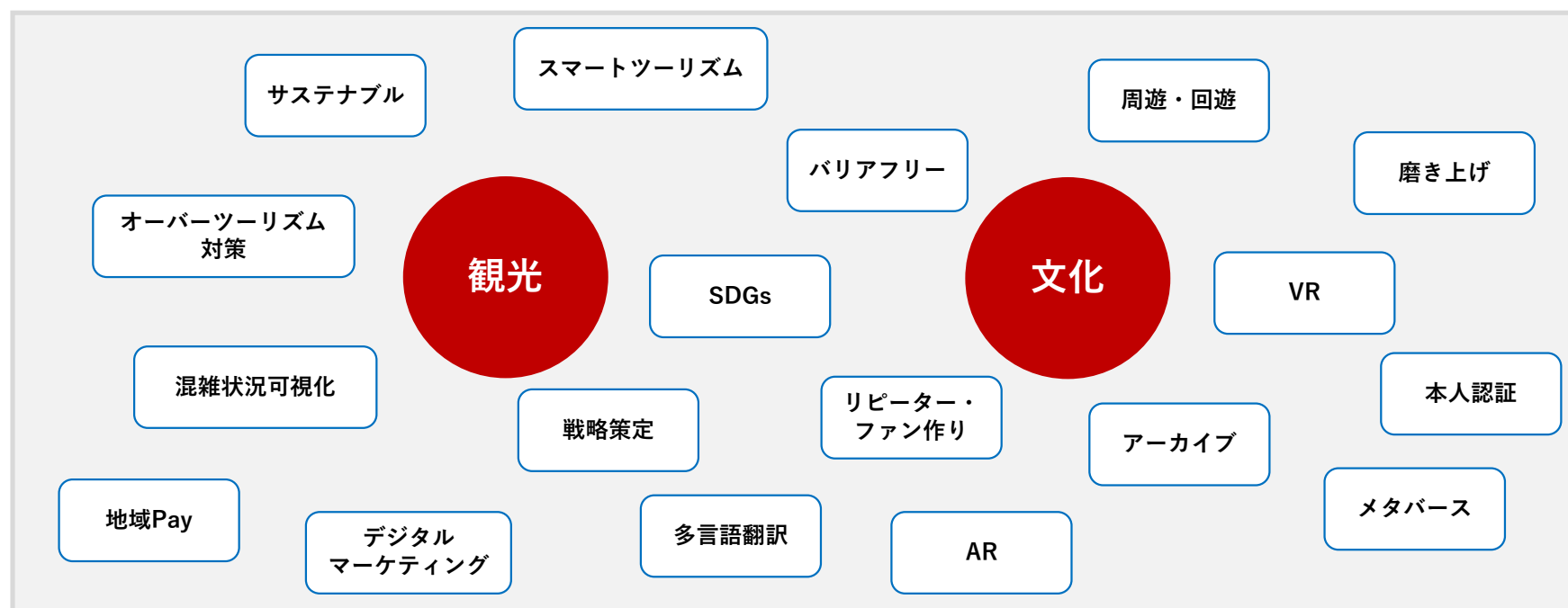
日本の魅力を高精細VRで世界各地に発信しクールジャパンに寄与する

世界の日本に好感を持つ国（約60カ国超）を中心に、文化財映像など普段見ることのできない日本の魅力をVRテクノロジーを活用し発信、訪日観光誘致に寄与していきたいと考えます。



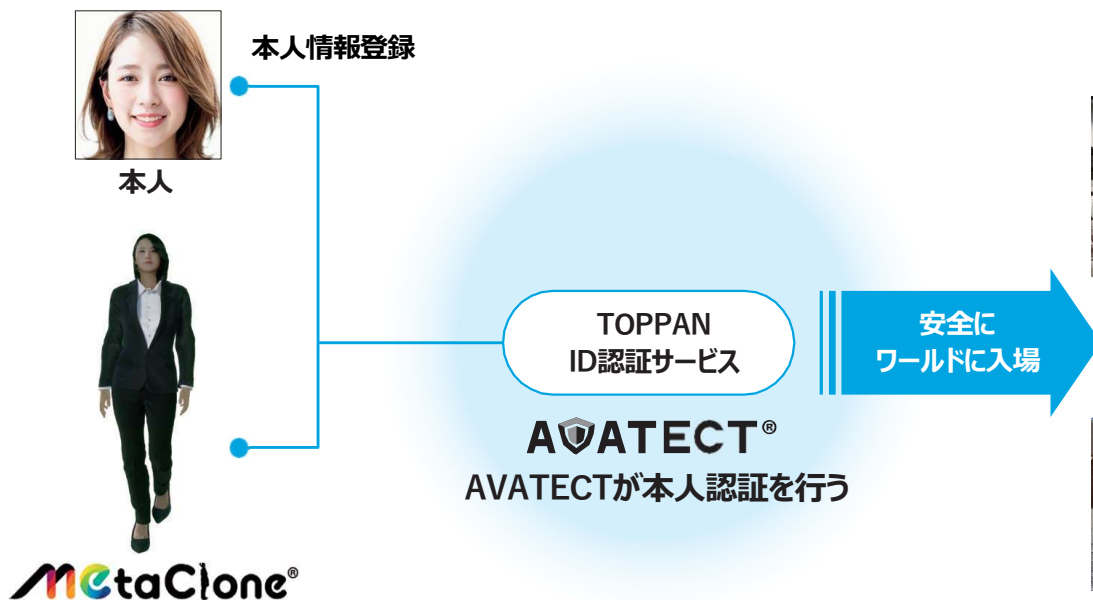
観光DXの重要性

日本に来てもらった後はデジタル技術を用いた観光DXの取り組みで文化・地域資源の利活用を通じて魅力発信し、おもてなしてリピーターになってもらうことが重要と考えます。



観光DXの組み合わせ例「本人認証」を活用したバーチャル観光

もう一人の自分でもあるアバター生成や本人認証の技術をベースに文化・観光・マーケティングといった領域を組み合わせ安心安全な観光DXを提供します。



本人認証したアバターで安全安心なバーチャル観光イベント



自分の分身として生成されたアバターの唯一性を証明し、メタバースにおけるアバターの不正利用やなりすましを抑止します。

観光DXのひとつ「多言語ソリューション」

外国人との交流機会は確実に拡大しており、日本の魅力を伝えるためには「言葉の壁」を乗り越え円滑なコミュニケーションが取れるデジタル技術の浸透が重要と考えます。



- ① 国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が開発した高精度な翻訳エンジンを搭載
- ② 透明ディスプレイに翻訳内容を字幕表示。映画字幕のように「相手の顔」と「テキスト字幕」を人間の有効視野に入れることで従来の翻訳機よりも自然な会話が可能に。
- ③ 12言語対応
日本語↔日本語、英語、韓国語、中国語（簡体字）、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、ポルトガル語、ミャンマー語、スペイン語、フランス語、フィリピン語



トッパンは、大阪・関西万博に自動翻訳システムを提供し、「言葉の壁」を感じさせない多言語コミュニケーションに貢献します。

©Expo 2025

様々な利用シーンにて活用



来場者とスタッフ/来場者同士のコミュニケーション



会場内ツアーにおいてツアーガイドと来場者のコミュニケーション



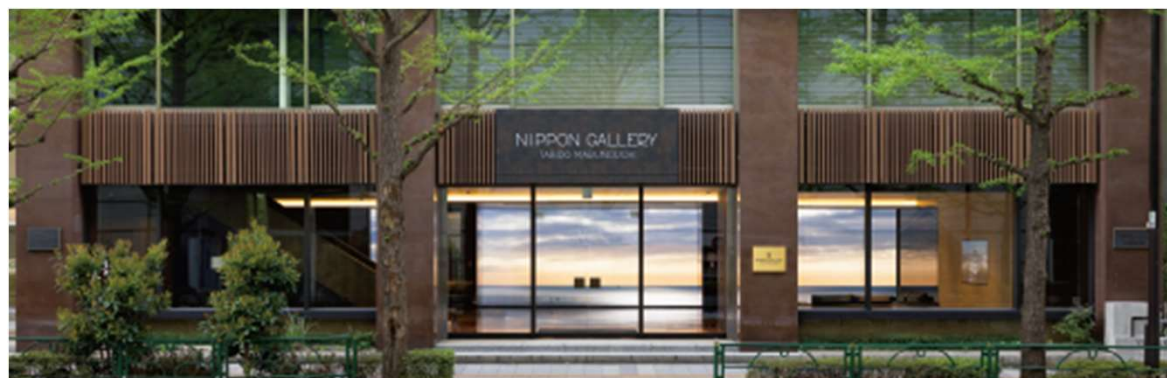
セミナーやシンポジウムにおける講演を聴講者に届ける

観光立国・地方創生のさらなる推進、その先のSociety 5.0の実現に向けて

日本における文化コンテンツのデジタルアーカイブを推進し、情報発信と価値創造を共創する拠点。

それが「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」です。

官公庁、自治体、観光関連団体・企業との共創により日本文化の魅力を世界に向けて発信し、理解を深めることで観光立国・地方創生の実現を推進するとともに、さらにはテクノロジーによってオンライン空間と現実世界をつないで、さまざまな社会の課題を解決する、人々が暮らしやすい社会（Society 5.0）の実現に貢献してまいります。



[ACCESS / 交通のご案内]



- ・JR「有楽町駅」国際フォーラム口より徒歩2分
- ・東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D3出口より直結
- ・日比谷線・千代田線・都営三田線「日比谷駅」B3・B4出口より徒歩3分

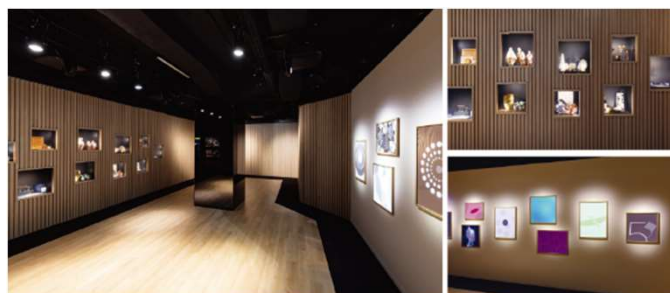


1. オリエンテーションラウンジ

正面エントランスを入ると、高さ2.7m×幅13.5mの高精細なLEDウォールに美しい日本の風景を投影し、お客様をお迎えします。日本人の美しい美意識を、印刷テクノロジーの応用による上映制御技術を駆使した超高精細な映像によりご体感いただけます。

2. ツーリズムギャラリー

空間に溶け込んだデジタル技術により、人の内面をセンシングすることで潜在意識を可視化し、パーソナライズされ変化していく空間です。「未来の観光案内所」でおすすめの旅をご提案いたします。



3. VRシアター

超高精細12K解像度・全長14.5mのLEDカーブビジョンに映し出されるVR映像が、その場にいるかのような没入感・臨場感を創出。デジタル文化財ナビゲータが日本文化の魅力と新たな文化体験をご案内します。

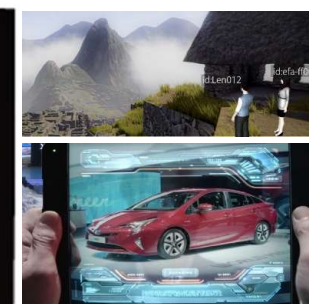


4. VRテクノロジー ギャラリー

VRシアターで上演される「トッパン文化財VR」の製作プロセスやデジタルアーカイブ技術、活用事例をご紹介します。

5. 感性コミュニケーションゾーン

視覚、聴覚、触覚、嗅覚の4つの感覚をコンテンツとして表現する「ナチュラルウィンドウ」と、昼から夜へと変化する自然光照明の連動による新たな空間をご体感いただけます。



6. フューチャーワールド

5面LED CAVEによる新たなメタバース体験など、トッパンの表現技術による未来のデジタル体験をご案内いたします。